

福祉用具が必要な理由（別紙２）

被保険者氏名	介護 太郎
被保険者番号	0000000000
購入日	〇〇〇〇年 ××月 △△日

4点以上の購入がある場合の
み本様式を作成してください。

（４）福祉用具が必要な理由（どのような状況で困っていて、**今現在、どのように生活されているのか**具体的に書きください。）

No	用具種類	困っていること（現在の対応策）	目指す目標（用具導入による効果）
4	浴槽内いす	浴槽の深さが650mmあり、腰を下ろして座ろうとすると膝の可動域制限があり曲げられない。現在は、シャワー浴のみにしているが、本人は入浴を強く希望している。	浴槽内いすを利用することで高さが補填され、立ち座りがしやすくなり、湯船につかることが可能になる。
5	スロープ（廊下→トイレ）	廊下とトイレの間に5cm程度の段差があるが、本人はすり足歩行のため、よくつまずいている。現在は介助されながら移動しているが、介助者の負担が大きい。	スロープにより段差が解消され、一人で安全にトイレに入ることができる。
6	スロープ（リビング→廊下）	リビングから廊下に出る際に3cm程の段差があるが、本人はすり足歩行のため、つまずくことがよくある。現在は壁に掴まり乗り越えてはいるが、本人は非常に不安を抱えている。	スロープによって段差が解消され、安全にリビングと廊下を行き来することができる。これにより、本人の不安も解消される。
7	スロープ（廊下→リビング）	廊下からリビングに入る際に3cm程の段差があるが、本人はすり足歩行のため、つまずくことがよくある。現在は壁に掴まり乗り越えてはいるが、本人は非常に不安を抱えている。	スロープによって段差が解消され、安全に廊下とリビングを行き来することができる。これにより、本人の不安も解消される。
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			